

デジタル社会における学び方と学びの場 —オンライン環境で「出来ること」「すべきこと」

開催地：東京

グループ：2班

2022.09.19

オンライン教育の革新

目次

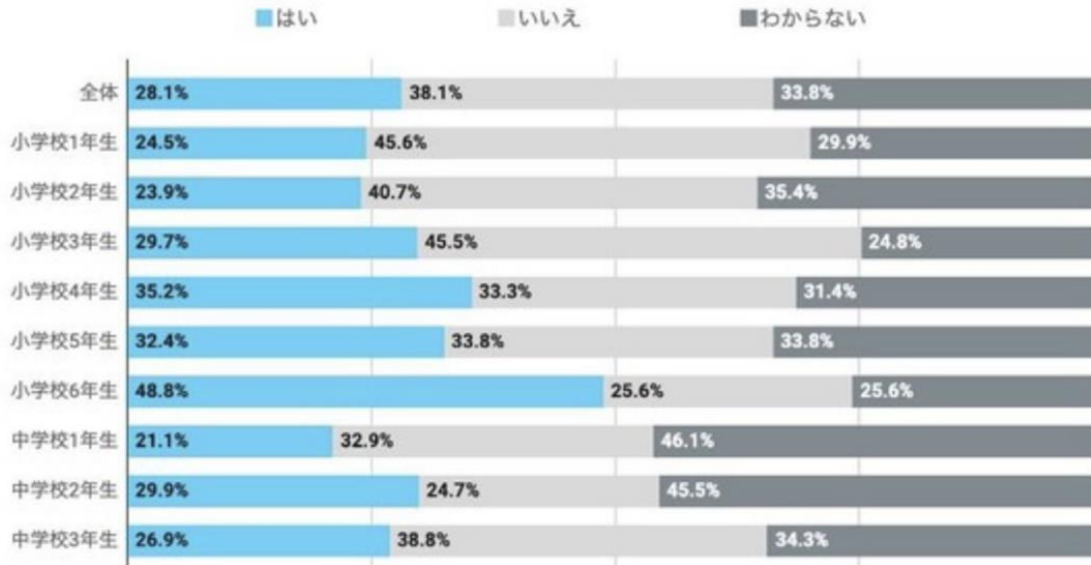
1. 現在の教育の問題点
2. 解決策
 - a. 目的を分かりやすくする
 - b. 選択できるようにする
3. 今後
 - a. 教育の柔軟性
 - b. 次世代空間と現実世界の融合

現在の教育の問題点

- ・ 情報教育の進んでいる学校と進んでいない学校がある
- ・ 情報を学んでいたとしても学ぶ目的が分からない生徒が多い
- ・ 学んだことをどのように活用、応用をしたらいいかわからない

現在の情報教育の実施状況

Q4 お子さんの通っている小学校・中学校では、令和2年度にプログラミング教育を実施しましたか？
(n=601) 単数回答



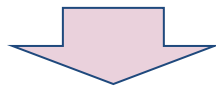
解決策①

- ・ 情報の授業を一人一人将来やりたいことに合わせて授業が選べるような環境を作る
 - ・ どういう目的で情報の授業をやっているかをはっきり伝える
- ・ 情報の知識をもっと取り入れる

解決策②

- ・ 情報教育で体験できるカリキュラムを選べるようにする。

- ・ オーストラリアの一部で行われている選択型教育 (Selective Education)の制度の一部を模倣して、カリキュラムごとに生徒をグループ分けして、リアルタイムかつオンライン上で受講できるようにする。



情報教育がより充実かつオンライン上で簡潔に！

4. 今後

目的を分かりやすくする

将来(大学入学後、就職後)にどう役に立つのかを考える場を作る
e.g. 大学の授業を体験、企業の方の講義を聞く



選択できるようにする

進みたい分野ごとに授業を選択できるようにする

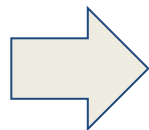
e.g. Excel、Word、プログラミング

- 選択するための知識を学び、それを活かして自分で選択をする

大学の授業を体験、企業の方の講義を聞く

オンラインを活用することのメリット

e.g. 移動時間ゼロ、動画視聴の講義も可能



オンラインを活用することのデメリット

e.g. 実験は分かりにくい、実際の様子も把握しづらい

次世代型空間「メタバース」と現実世界の融合

メタバース技術とパノラマ表示技術の組み合わせ

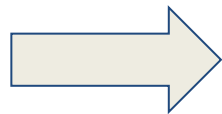
”よりリアルなメタバース”で授業を受けることができる

メタバース×現実世界の写真、資格情報

ロボット技術の活用

ロボットの遠隔操作技術とメタバース上での操作情報

の連動により危険な化学実験をもオンライン上でできる



限りなくリアルに近づけたオンライン

出典

- ・ ニューサウスウェールズ州 「What are selective high schools?」

<https://education.nsw.gov.au/public-schools/selective-high-schools-and-opportunity-classes/year-7/what-are-selective-high-schools> (2022年9月19日閲覧)

- ・ くもん出版 「小中学校におけるプログラミング教育に関する調査」

<https://www.kumonshuppan.com/naruhodo/> (2022年9月19日閲覧)

ご清聴ありがとうございました！

目的をもう少しわかりやすくした方が良い

(実際に大学の授業を体験する、企業の方の講義を聞いたりするなど、将来にどう活かしていけるのか)

メタバースx現実世界の写真、視覚情報

ロボット技術を用いてメタバース上での実験など。

将来やりたいことに合わせて情報のカリキュラムを選択できる
柔軟性

(情報教育の柔軟性)